入職おめでとう!

温かな医療・介護をともにつくりましょう

今年も長野県民連にたくさんの新しい仲間を迎えました。医療・介護の現場はますます厳しくなっていますが、民医連にはともに働く仲間、激励してくれる地域のみなさんがいます。先輩職員から「民医連を感じるとき」をテーマに激励の言葉を寄せてもらいました。

長野県民医連

長野県民主医療機関連合会
2016年4月25日　第304号
事務局
〒390-0803 松本市元町2-9-11　民医連会館2F
☎0263-36-1390　FAX 0263-33-1229
Eメール　kikanshi@n-mr.com
URL　http://www.mintyo.or.jp/min-iren
［月1回25日発行　定価100円・加盟院所職員は会費に含む］

人権の意味を理解し行動できる人に

新しく民医連の職員となったみなさん。民医連の理念を掲げ、みなさんと共に活動できることを、長野県民医連の職員全員が大変うれしく思っています。

今年は特別な年です。日本の国の仕組みが、国民一人ひとりの命と暮らしと平和を守る政治からどんどん離れている今、選挙を通じて逆立ちした政治を断ち切る第一歩を踏み出す年になります。技術だけでなく広く社会全体を学ぶ中で、憲法の謳う国民主権と人権の意味を理解して行動できる人になってほしい。皆さんの民医連職員としての成長を期待して、歓迎の言葉とします。

長野地域連絡会

Message

民医連は患者さんのためになる「＋α」を考えて医療を行う団体だと思います。入院患者さんの家屋訪問に医師が参加した時に民医連らしさを感じました。

Message

住民票のない方、治療費が支払えない方、いろいろな背景を持った方が入院、受診されているのを日々見ていると、民医連の「無差別・平等の医療と福祉」を感じます。

東信地域連絡会

Message

患者さんの生活様式に合った内服薬管理方法をスタッフと相談して選択し、入院中から習慣づけています。患者さんをとりまく環境に注目した医療に携わることができます。

中信地域連絡会

Message

民医連は無差別平等の医療と介護を実践していることもあり、職員間の立場も平等です。先輩・後輩・職種等分け隔てなくモノが言える職場です。物怖じせず、自分の意見を発言し一緒に頑張りましょう。

Message

医療費の支払いがむずかしい患者さんに対して、生活背景を伺ったり、医療費の負担を軽減できるよう検査内容を見直している姿に、患者さん一人ひとりを大切にする民医連らしさを感じます。

Message

連携がとりやすい☆職員同士相談しやすく、一緒に悩んでくれます。とことん寄り添う☆患者さん・ご家族にそれぞれの立場で前向きに向き合っています。民医連ってそんなところ。

諏訪地域連絡会

南信勤医協・諏訪ひまわり薬局

上伊那地域連絡会

Message

患者さんの目線に立ち、患者さん中心の医療を継続してきたからこそ、身近かな存在に感じられます。患者さんと接する機会が少ない職種ですが何気ない会話もできる関係性がうれしいです。

Message

民医連を感じるのは、地域の方々との交流をはじめ医療以外の学び、気づきを得ることができた時。他では経験できない＋αが民医連には沢山あります。新人の方にもそれを感じてほしいと思います。

こころのひろば

Message

青年職員同士の関わりが、院内だけでなく他県の民医連事業所とも持てて楽しいです。また、政治など社会情勢にも目を向けながらデモや署名活動なども行っています。

Message

病院に来るのが日課になっている高齢で独居の患者さん。看護師は毎日、他愛のない会話で患者さんを笑顔にしています。患者さんを受け入れる家族のように温かい看護だと思います。

Message

「入職2年目に福島へ行こう！」と誘ってもらいました。視察をしたことで署名活動が少しでも役に立てばと強く思うようになりました。民医連だからこそできる企画だと感じました。

飯伊地域連絡会

共立福祉会

2016年
全国新年号コンクールで
「特別賞」受賞！

日本機関紙協会主催のコンクールで、『長野県民医連』は表記の賞を受賞しました。特に、「女性医師と女子医学生の対談は、『戦争法』に反対するすべての人に明るい未来を期待させ元気にしてくれるすばらしい特集でした」と評価されました。今年度も編集委員一同、“読んで元気になる機関紙”をめざし奮闘します。

NO WAR! 平和憲法守る私の声㉘

丸山 基治 かなえひまわり薬局・事務長

県連機関紙へ「平和憲法を守る私の声」寄稿を!と依頼され、はたと困ってしまう自分がそこにいました。昨年1年間、そして今も「憲法って何なんだ」と考えています。

残念ながら憲法を系統立って学んだ記憶はありませんが、あの侵略戦争で失われた二千数百万人のアジア諸国民の命の上に、二度とこのような時代を許さないんだという決意で生み出されたものだったはずです。私の家は戦争で家族を奪われることはありませんでした。そんなこともあり平和憲法は一種の空気のような存在であり意識することなく自分たちの周りにあるものと感じていた自分がいたのも事実です。

私の学生時代「有事立法」が企らまれた時があり、学内外で反対運動が大きく盛り上がり成立を阻止することができましたが、その後も機会ある度に靖国史観に取り憑かれた歴史修正主義者の暗躍があり、昨年ついに「強行採決」で「戦争法」が成立してしまいました。彼ら歴史修正主義者の究極の目的は憲法改正、とりわけ第九条を破壊することにあることは間違いありません。

憲法三原則の中でもとりわけ平和主義が危機に瀕している現在、平和憲法を守る国民運動の架け橋となり、希望ある時代を切り拓く運動をさらに発展させなければならないと感じます。綱領に示されているように憲法の理念を高く掲げることが民医連医院所に働くものとしてのアイデンティティそのものであり、「空気」のような憲法が汚染され窒息状態に陥ることはなんとしても阻止したいと思います。

長野県民医連共同組織活動 交流集会で学び、交流

3月19日、長野市JAアクティーホールで「戦後70年憲法をいかして戦争をしない!命健康を守ろう!」をテーマに開催。約700人が参加し、首都大学東京の宮下与兵衛特任教授の記念講演や分科会で学び、交流しました。

中信からは76人が参加しました。第1分科会では、戦争法案に対する取り組みや満蒙開拓平和記念館の見学学習、福島視察の報告がありました。戦争法反対の取り組みでは、中信・大北地域の友の会が幅広く地域の団体と協力し、活動を広げているのが印象的でした。また、福島視察報告では現場を見る意義を感じ、大切なのは一人ひとりが関心を持ち続け、能動的に学び続けることだと思いました。

全体会

「元気太鼓」のアトラクション

食事と遊び、勉強も楽しく「こども食堂」

「こども食堂」の取り組みが全国各地に広がる中、伊那で初となる「西箕輪こども食堂&学用品リユース会」を3月22日に近所の公民館で開催しました。小学生など25人が参加し、「とても楽しく来てよかった。また来たい」と好評でした。

当施設が清掃委託する労協ながのに「県内でも広がっているこども食堂を、一緒にやってみましょう!」と相談したのがきっかけ。上伊那医療生協と労協ながのも参加するSOSネットワーク上伊那で主催、信大農学部ボランティアサークルや学童保育、子育て支援団体にも呼びかけて、地元の連携で実現しました。

子ども同士で仲良く

手づくりご飯はおいしいね!

2分で読める ミニ学習

Q 近ごろ話題のQODって?

A 女優の樹木希林さんが、新聞広告で「死ぬ時ぐらい好きにさせてよ」と言って話題になりました。歳をとっても病気があっても障害があっても、その人らしく生きるためにどうすれば良いのか?

医療や介護の現場では、その人らしくどう生活するかQOL(Quality Of Life)＝生活の質を考え実践しています。その人らしく生きる事を突き詰めると、最期までその人らしくどう生きるか、どう死を迎えるかQOD(Quality Of Death)＝死の質を考えることと同じです。

死について話すことは不謹慎と受け取られがちです。しかし自分らしい死を迎えるためには、自分一人では完結できません。家族や親しい人の協力が必要です。自分が元気なうちに家族や親しい人へどんな医療や介護をしてほしいか、延命治療、死に場所、葬式、財産分与など具体的に伝える必要があります。

医療・介護従事者は、ケアの方法や死に場所を確認するため、病院と自宅でのケアのメリット・デメリットを伝え、具体的な選択肢を増やせる助言や、悲しみや不安に対する心のケアを行う事が必要だと思います。

どのように選択しても希望通りにならなかったり、悩み揺れる事もあるでしょう。ケアにあたる職員は、本人や家族の揺れる思いを認めてそれに寄り添う力と、どのように死を迎えたいのかQODを聞き出す力が必要なのだと思います。死の迎え方を考えて生活する＝QODの向上は、よりその人らしく生活する＝QOLの向上につながるのではないでしょうか。

熊本地震について

4月14日(木)午後9時26分頃、熊本を中心にM6.5の地震が発生し、さらに4月16日(土)午前1時46分頃、M7.3の地震が発生、その後も強い余震が続いています。この地震で大きな被害が発生しています。全日本民医連及び熊本県民医連は災害対策本部を設置し、支援を開始しました

長野県民主医療機関連合会

原発のない未来へ! 3.26全国大集会に参加

肌寒いうす曇りの中、飯伊からは、熱い思いを持った共同組織のおじさま、おばさまと職員あわせて17人が、マイクロバスに乗って出かけました。早朝の出発にも関わらず、みなさんはバスの中から元気一杯。代々木公園で集会に参加する多くの団体の幟を見て、さらに上がるテンション。「原発反対!」全国各地のさまざまな取り組みを聞き、疲れの「つ」の字もなく東京の道を大行進!疲れるどころか、みんな元気になって帰ってきたので、また「原発反対!」頑張れそうです。

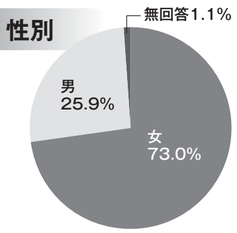
はじめまして!(^^)! 新入職員さん突撃アンケート!

新入職員さんへの名刺代わりに、恒例の「長野県民医連」アンケートを行いました。研修で忙しい中でしたが、185人のみなさんが協力してくれました。ありがとうございました。

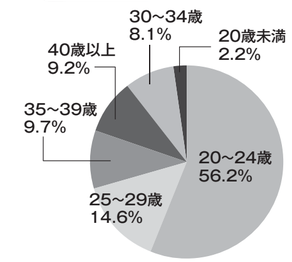
戦争法反対で若者たちの渋谷ジャック(6·14国会包囲)

NPTのNY行動

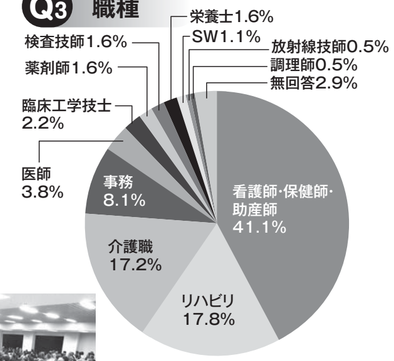
Q1 性別



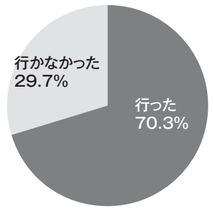
Q2 年齢



Q3 職種

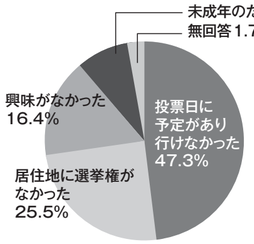


Q4 一昨年の衆議院選挙へは行きましたか?



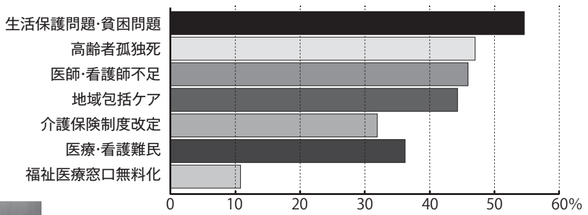
共同組織活動交流集会

Q5 Q4で行かなかったと答えた方にお聞きします。何が理由で行かなかった?

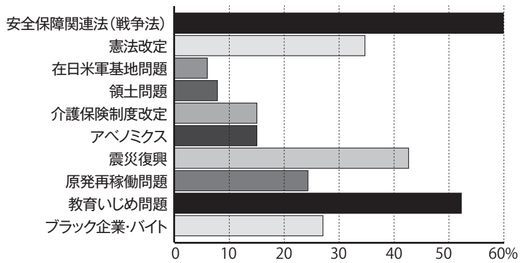


子ども障害者窓口無料を求めて阿部県知事と懇談

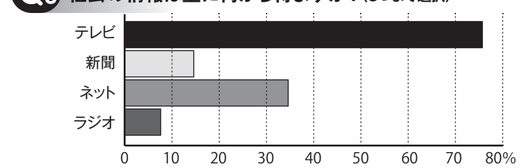
Q6 あなたが医療・介護福祉関係で関心がある事は何ですか?(3つまで選択)



Q7 あなたが社会の出来事で関心がある事は何ですか?(3つまで選択)



Q8 社会の情報は主に何から得ますか?(3つまで選択)



アンケート結果をふりかえって

今年は「安保法制(戦争法)」への関心がずば抜けて高く、法案可決後も高まる批判的な世論や運動の反映です。「生保・貧困問題」や「震災復興」が高いのは医療・介護職の新人らしい正義感が表れています。

今回は記述方式で2点書いてもらいました。①「入職しての不安は?」については「職場環境」、「人間関係」、「技術・仕事の力量」の三点に集約され、②「あなたの思う民主主義は?」については、「よく分からない」という率直な意見と、「メンテナンスに手間はかかるが暴走を防げるすぐれたブレーキ」や「みんなで最大の致点を探していること」など、民主主義には努力が必要だとする積極的な意見も書かれていました。アンケート結果は職員育成部でも研修などに活用してもらう予定です。

機関紙は仲間をつなぎ、運動をつくる大きな力です。月1回の講読とご意見をお待ちしています。